

禁煙を促す社会環境を背景に スムーズに敷地内完全禁煙を実施

福島県郡山市

郡山市では、市の公共施設はすべて敷地内完全禁煙という、福島県内の自治体でもっとも進んだ受動喫煙対策をとっているが、昨年12月1日の実施以来、市民、職員の理解と協力のほか、職員のモラル遵守により概ね順調に推進しているという。その背景には、禁煙を受け入れる社会環境があるといえそう。

3カ月の周知期間を置いて 全公共施設を敷地内禁煙

平成29年3月、郡山市職員安全衛生委員会は、「市公共施設は、原則敷地内禁煙（公用車内も含む）」とするよう提言を行った。「市の施設は、市民にとって他に代替することができない公共施設であり、多様な利用者への受動喫煙防止の観点から対策を講じるべき」というのが、その理由だ。職員アンケートで、約7

割の職員が「敷地内または建物内禁煙とすべき」と回答していることも踏まえた提言だった。

この提言を受けて実施された総務部職員厚生課の調査でも、同年7月の時点で、すでに7割の施設が建物内もしくは敷地内禁煙を実施していることがわかった。職員厚生課長の宗方成利さんは、「各施設で受動喫煙対策への意識が高まっていることが確認されました」と語る。「喫煙者の著名人を招いた場合、どのように対応すればよいか」（文化施設）「たばこをお供えものにしていない方もいる」（墓園）など、難色を示す声も一部にはあったが、「協力を求めることで解決できる問題」と判断された。また市民ネットモニターによるアンケートでも、市公共施設の敷地内禁煙に対し約8割が賛成との結果を得、8月には、「郡山市の公

共施設における受動喫煙防止対策指針」を発表。29年12月1日から、すべての市公共施設（公用車を含む）を敷地内禁煙とすることが、正式に決定した。

9月から11月までの3カ月間は周知期間とされ、施設管理者および職員に対する受動喫煙対策研修会が開催されたほか、広報紙やテレビ、ラジオでの市民へのPRも併せて行われた。

来庁者の多い基礎自治体にとって敷地内禁煙の実施は市民からの苦情も懸念されるところだが、実際はどうだったか。職員厚生課福利厚生係主任の高橋和也さんは、こう語る。「12月1日以降、電話での苦情もたくさん来るのではないかと構えていましたが、2週間に1回程度でした」。前出のアンケートも示すとおり、受動喫煙対策に対する市民の理解は、思いのほか進んでいることがうかがえる。

喫煙へのハードル高まるなか 禁煙支援策を継続して実施

では、職員の反応はどうか。本庁舎は、屋内分煙から屋内禁煙（屋外喫煙所の設置）を経ずに敷地

内完全禁煙へ移行したが、よく問題となる職員の路上喫煙はほとんど見られないという。敷地内禁煙は指針であり罰則規定は設けられなかったが、副市長名での通達（29年11月）が奏功しているのかもしれない。ちなみに通達は、「路上喫煙は通行者等の受動喫煙の原因となること」「勤務中の喫煙は職務懈怠」とし、路上喫煙のみならず、勤務中の喫煙にも釘を刺している。

もともと、休憩時間に通勤のため自分で借りている民間駐車場のマイカー内で喫煙する職員や喫煙可の飲食店に向く職員もいるという。路上喫煙の問題が出ない背景には、実はこうした「実質的な屋外喫煙所」の存在があることも確かだ。

とはいえ、マイカーでも飲食店でも、「二度、敷地外へ出る」というように、以前に比べ喫煙へのハードルは格段に高くなった。職員厚生課福利厚生係技査（保健師）の武藤五月さんは、「これを機に、禁煙する職員が増えてほしいところだ」と語る。職員の喫煙率は、28年度に実施した職員アンケートによると13%となっている。数値目標は設定していないが、これを少しでも下げ

禁煙外来に行ってみませんか。

「たばこをやめようから」といってでも困ったら、禁煙外来を受診するのびとつ方法です。禁煙治療は一定の条件を満たせば健康保険が適用になります。医師のサポートを受けると、一人で禁煙するよりも成功率が高いといわれています。

郡山市内禁煙外来受診施設一覧表

施設名	電話番号	住所	施設名	電話番号	住所
1 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	13 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
2 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	14 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
3 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	15 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
4 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	16 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
5 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	17 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
6 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	18 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
7 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	19 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
8 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	20 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
9 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	21 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
10 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	22 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
11 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	23 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1
12 郡山市立総合医療センター	024-2321	郡山市中央1-1-1	24 市立中央病院	024-2321	郡山市中央1-1-1

郡山市保健所地域保健課 TEL 024-924-2900

▲定期健診時、喫煙者に配付される禁煙外来を紹介するチラシ

結果 市職員禁煙体験インタビュー ②

この結果が、禁煙しようかと悩んでいる方をずっと後押しするきっかけになることを願っています。

皆さん（喫煙者数1000人、禁煙外来を受診して禁煙）
禁煙して1年、禁煙の息づかいが、最初は少し苦しかったけど、今はもう「ニコレット」などの禁煙補助剤を使っていますが、毎日程度の禁煙が困難でした。処方された規定量の薬を継続して服用した結果、ある意味あっさり禁煙することができました。禁煙後の生活がよくなりましたが、何よりも自身の健康や生活に関する影響が大きいと思います。周りの状況と自分自身の将来を考え、禁煙を遂行する方が増えることを望みます。

禁煙外来を受診するの禁煙方法の一つですね。6月に開催された禁煙対策研修会において、保健課長の津井先生が禁煙外来成功率について「12週間の禁煙率の禁煙治療を完了した人の禁煙（半煙）成功率は、57.7%、5.5%」とお話していました。高い成功率ですね。郡山市内の禁煙外来施設が掲載されたチラシを渡付しましたので、ぜひ参考にしてください。

◀安全衛生だよりに掲載されている、禁煙体験インタビュー



左から、総務部職員厚生課福利厚生係主任の高橋和也さん、同技査の武藤五月さん、職員厚生課長の宗方成利さん、同課主幹兼課長補佐兼福利厚生係長の遠藤尚孝さん

の禁煙支援策は継続して行っている。一つは、受動喫煙対策研修会を、昨年の周知期間中の実施に続き、今年も5月1日に実施したことだ。講師は、福島県の地域がん診療連携拠点病院である坪井病院理事長の坪井永保先生に依頼。喫煙者のみならず、施設管理者も含め約80人が参加した。参加者は、職員厚生課が全所属に通知を出して募ったという。

また、安全衛生委員会が月1回発行する「安全衛生だより」には、禁煙成功者の声を掲載している。「身近な人の体験談を読むことで、少しでも禁煙の後押しができるのではないかと考えました」と、武藤さんは、その理由を語る。さらに定期健診時には、問診で「喫煙している」と答えた職員に対し、すかさず声がけをしたり、市内禁煙外来医療機関の一覧を掲載したチラシを渡したりしている。

そのほか、保健師だけが見ることが出来るメールアドレスによる「健康相談」でも、禁煙に関する相談を常時、受け付けている。件数は少ないというが、禁煙への関心を広げておく観点から、今後も他の対策と併

せて、周知していくという。禁煙への関心が高まり、禁煙支援策を加速する好機

たばこには個人の嗜好という側面もあり、職場においては「コミュニケーションのためのツール」と主張する喫煙者もいる。

一方で、宗方課長は「昨今は、職場だけでなく家庭でもたばこを吸いづらい環境となり、喫煙者の中には、実は禁煙したいと思っている方も少なからずいるのではないのでしょうか。今回の郡山市の受動喫煙対策への取り組みが、そうした皆さんの背中をそっと押してあげるきっかけとなってくれば幸いです」と語る。

これまでのたばこ対策では、禁煙無関心期の人に関心をもち、もたらうかが、一つの大きなテーマだったが、喫煙者は今、否応なく禁煙への関心が高くなるを得ない状況に置かれている。

折りしもこの10月1日、たばこが大幅値上げとなった。職員厚生担当や職域保健担当としては、受動喫煙対策はもとより、喫煙率低下に向けた禁煙支援策を加速する好機といえそう。